事業シート（令和9年度予算）

事業名	41120　公衆衛生推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	
担当課	医療保健部　健康推進課	内線	2804		目	1	保健衛生総務費			施策分野	(6)	健康・保健		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・保健・衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持・増進及び公衆衛生の向上を図る。	概要	・保健・衛生関係事務の遂行 ・骨髄移植ドナー及び雇用事業所に対する助成 ・公衆浴場業者が行う設備の改修にかかる費用への補助 ・飼い犬の登録や死亡等の受付とデータ管理、狂犬病予防注射の実施 ・所有者不明猫の保護等を行う団体への補助

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		3,052	1,977	3,102			
特定財源	国費（　　）						
	県費（骨髄移植ドナー支援事業費 1/2、公衆浴場設備改善対策事業費2/3 県委譲事務交付金）	1,072	501	1,072			
	その他（畜犬登録手数料 等）	1,080	971	1,131			
一般財源		900	505	899			
新規・拡充	主な事業内容						
	公衆衛生推進事業	252	233	252			
	骨髄移植ドナー等に対する助成	210	0	210			
	公衆浴場設備改善対策に対する助成	1,400	697	1,400			
	畜犬登録事務	680	571	730			
	飼い主のいない猫の緊急保護に対する助成	400	400	400			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 3,100 増減 (d)-(c)
3,095			△ 7
1,074			2
1,149			18
872			△ 27

要求額	説明
241	
210	
1,400	
748	
400	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修等（ボイラー等・その他の浴場設備）にかかる費用に対し補助を実施　2事業所へ補助 ・飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理　登録数3,989頭 ・狂犬病予防注射の実施　3,710頭（集合注射：市内156か所、動物病院等での個別接種） ・犬のふん尿マナー啓発用看板設置 ・動物愛護団体が実施する所有者不明猫の保護活動に対する補助金（58頭） ・飛騨公衆衛生協議会負担金 ・骨髄移植ドナーへの支援補助　ドナー0名、事業所0箇所	
評価等	・市内公衆浴場事業者は、設備の老朽化や利用者の減少等により、今後の経営に大きな不安を抱えていることから、今後も施設、設備の老朽化や修繕の希望状況、経営状況などを随時把握し、必要な支援を行っていく必要がある。 ・引き続き、飼い犬の登録等の届出や、狂犬病予防注射の必要性の周知、飼い主のマナー向上の啓発に努める必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・引き続き、公衆浴場の改修等に対する必要な支援を行う。 ・公衆浴場組合と連携して、経営環境の状況把握に努める。 ・市内を巡回しての狂犬病予防集合注射を継続して実施する。 ・狂犬病予防注射の重要性の啓発を行い、予防注射接種率の向上を目指す。 ・未接種者に対する啓発を迅速に実施する。 ・希望者に対するマナー啓発看板の配布を実施する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	41200　健康づくり推進事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
担当課	医療保健部　健康推進課	内線	2804		目	2	予防費

総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備
		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり
	分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康
		施策分野	(6)	健康・保健

根拠計画	健康たかやま21、過疎地域持続的発展計画、食育推進計画
市長公約	Ⅰ　くらしを守る 市民の皆さまの健康と命を守ることを最優先に、妥協しない医療体制を創ります

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市民・関係団体と一体となり、市民一人ひとりの健康に対する意識を高めるとともに、心身の健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、市民の健康の保持増進を支援する。
概要	・健康づくり推進協議会の開催 ・食生活改善推進員教育事業（栄養教室）、国民の健康づくり推進事業（飛まわり会）の実施 ・健康相談、健康教育、健康づくり事業（健康まつり、健康ポイント、水中歩行事業）の実施 ・フレイル予防、眠育、食育の推進 ・たばこによる健康被害の軽減を目的とした禁煙外来費用の助成 ・がん患者の医療用補正具購入費用の助成

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
運動習慣者(30分・週2回以上の運動を1年以上継続)の割合（20～64歳）	男37.7% 女20.9%		男増加 女30.0%
「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じている市民の割合	55.0%		↗
健康寿命　（KDB数値R4・R5実績）	男80.0歳 女84.8歳		男84歳 女86歳
	(R5)		

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		9,017	5,761	9,270			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　健康増進事業費2/3、こころの健康支援事業費1/2　等　）	1,046	642	1,094			
	その他（　福祉健康基金繰入金、保健介護一体的実施事業　等　）	1,460	1,445	1,520			
一般財源		6,511	3,674	6,656			
新規・拡充	主な事業内容						
	市民健康まつりの開催（健康づくり啓発）	950	746	1,040			
	健康相談・健康教育事業	1,570	1,066	1,580			
	健康づくり事業(健康ポイント・水中歩行運動)	3,530	2,012	3,790			
	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施	567	535	600			
	禁煙外来受診費用に対する助成	150	24	150			
	がん患者医療用補正具購入に対する助成	800	474	800			
	血糖値の見える化による糖尿病の予防	540	255	540			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 9,000 増減 (d)-(c)
11,297			2,027
1,357			263
529			△ 991
9,411			2,755

要求額	説明
1,065	
1,547	
4,551	
529	
240	
800	
402	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・市民健康まつりは、9月の1か月間を健康フェスティバル月間と定めて、日にちや開催場所を分散し、より多くの健康づくり体験ができるように実施した。（参加団体24、体験者数1,211人） ・一般健康相談（770回　908人）、重点及び総合健康相談（69回　229人）、集団健康教育（118回　1,049人）うちフレイル予防講座（22回　参加者275人） ・食生活改善学習会実施回数（6回） ・健康ポイント事業（達成者1,465人） ・水中歩行運動事業（2クール、利用者47人） ・眠育講座（4回、アドバイザー養成116名） ・がん患者医療用補正具購入費助成（全頭用ウィッグ20件、乳房補正具8件） ・血糖値の見える化による糖尿病の予防事業（利用者 19人）
評価等	・健康ポイント事業、水中歩行運動により、市民が自ら健康づくりに取り組むための環境整備を図った。 ・学校や保育園などで眠育や食育の重要性の啓発を図った。 ・食生活改善推進員等の関係団体については、「健康たかやま21」や「高山市食育推進計画」の推進に欠かせない重要な団体として協働していく。 ・血糖測定機器による血糖値の見える化により、利用者が血糖値の変動と生活との関係を確認し、生活習慣を見直す機会を提供できた。
次年度以降の考え方（担当課）	・健康ポイント事業により、健診を受けることや運動習慣を持つこと等、若者も含めてより多くの人に関心を持ってもらえるよう、ウォーキングアプリを活用した手法も追加する。 ・眠育やフレイル予防などライフステージに応じた健康づくりを推進する。 ・健康寿命の延伸に向け、関係部局と連携し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に引き続き取り組む。 ・血糖値の見える化による糖尿病予防事業に引き続き取り組む。

☐ 維持・改善　☑ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R7完了　☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	

☐ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R8完了　☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	41210　こころの健康支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	健康たかやま21、一人ひとりの命とこころを支える計画（自殺対策計画）、過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
担当課	医療保健部　健康推進課	内線	2846		項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 市民の皆さまの健康と命を守ることを最優先に、妥協しない医療体制を創ります
					目	2	予防費			施策分野	(6)	健康・保健		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・個別の相談や啓発を行い、こころの健康の保持増進を図る。	概要	・メンタルヘルスチェックシステムによるこころの健康の啓発 ・公認心理師・臨床心理士によるこころの健康相談 ・ゲートキーパーの周知と育成

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
こころの健康相談来所者数	38人		36人
こころの体温計アクセス数	20,259件		20,000件

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		680	661	770			
特定財源	国費（　　）						
	県費（こころの健康支援事業費1/2、2/3）	360	353	400			
	その他（　　）						
一般財源		320	308	370			
新規・拡充	主な事業内容						
	こころの健康支援事業	380	389	470			
	ゲートキーパーの育成、命の大切さの啓発	300	272	300			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	700 増減 (d)-(c)
918			148
492			92
426			56

要求額	説明
573	
345	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・メンタルヘルスチェックシステムの維持（アクセス数：20,259件） ・公認心理師・臨床心理士によるこころの健康相談（12回　38人） ・自殺予防啓発リーフレットを作成し、出前講座での配布や、行政機関等の各種相談窓口、公共施設、市内スーパー等に設置 ・ゲートキーパーの育成（306人　延べ1,536人）	
評価等	・自分自身や大切な人のこころの状態を確認できるメンタルヘルスチェックシステム（こころの体温計）の利用啓発を広報やメール配信等で実施した。 ・自殺のサインに気づき、適切な対応ができる人材を育成するため、自身のこころの健康を守ることも含めた、ゲートキーパー育成講座を開催した。 ・引き続き、公認心理師・臨床心理士によるこころの健康相談事業の普及・啓発と相談しやすい環境の整備に努める必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・公認心理師・臨床心理士によるこころの健康相談事業は、「健康たかやま21」にも位置づけられた「こころの健康」につながることから今後も継続していく。 ・メンタルヘルスに関する各種事業により、自殺者減少に向けた啓発を行う。 ・自殺対策計画に基づき、関係機関・団体等との課題の共有や取り組みの推進と各種施策の進捗管理を継続して行う。 ・誰も自殺に追い込まれることのない高山市の実現のため、引き続き自殺予防に向けた啓発、人材育成、相談体制の充実を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	41220　健康診査事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	健康たかやま21、過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
担当課	医療保健部　健康推進課	内線	2846		項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 市民の皆さまの健康と命を守ることを最優先に、妥協しない医療体制を創ります
					目	2	予防費			施策分野	(6)	健康・保健		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・各種検診を実施し、疾病の予防及び早期発見、早期治療を行うことで健康増進を図る。	概要	・前年度末に各種検診の全対象者に申込書を送付し、希望のあった方に受診票を送付 ・4月中旬から3月中旬まで各種検診を実施 ・胃部レントゲン検査が受けられない市民を対象とした胃内視鏡による胃がん検診の実施

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
がん（胃・大腸・肺・乳・子宮頸がん）検診受診率(69歳未満)	64.0%		60%

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		154,048	134,100	155,968			
特定財源	国費（　がん検診推進事業費1/2　）	170	138	180			
	県費（　健康増進事業費2/3　）	3,680	2,575	2,980			
	その他（　　）						
一般財源		150,198	131,387	152,808			
新規・拡充	主な事業内容						
	健康診査委託料	15,983	13,093	15,700			
	がん検診委託料	95,700	81,782	97,570			
○	骨粗しょう症検診、歯周病検診、肝炎検査、胸部レントゲン委託料	27,900	25,935	27,800			
	胃内視鏡検診委託	4,100	3,887	4,230			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 154,100 増減 (d)-(c)
157,585			1,617
174			△ 6
4,607			1,627
152,804			△ 4

要求額	説明
15,335	
92,484	
34,551	
4,230	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・前年度末に各種検診の全対象者に申込書を送付し、希望のあった方に問診票等を送付。4月中旬から3月中旬まで各種検診を実施した。 ・がん検診受診率向上と受診のきっかけ作りのため、乳がん（40歳）・子宮頸がん（20歳）・大腸がん（40歳）について、前年度末年齢が一定年齢に到達した者に対して自己負担金の無料化を実施した。 ・各種検診受診者数（総数：37,294人） 健康診査：2,157人　胃がん：4,053人　胃がん（内視鏡）：189人　大腸がん：8,177人　子宮頸がん：5,235人　乳がん：5,466人　肺がん：9,650人　前立腺がん：735人　肝炎ウイルス：500人　歯周疾患：486人　骨粗鬆症：646人	
評価等	・健康意識の向上、生活習慣改善のため、各種検診を実施した。 ・引き続き各種検診の受診率の向上に努める必要がある。 ・若年期からの継続的な歯・口腔の健康管理を行う必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・各種検診を継続して実施し、受診率の向上を目指す。 ・「健康たかやま21」の目標である、がん検診受診率の達成を目指す。 ・生命保険会社や協会けんぽ等との協定に基づき、市が行う各種検診の受診勧奨やがん予防啓発等を協働することで、市民全体の健康づくりを推進する。 ・若い世代からの歯・口腔の健康管理の重要性を周知し、歯・口腔の健康の保持増進を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・予防医療の観点により、歯周病検診（対象年齢及び歯のクリーニングを追加）の拡充に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	41230　訪問指導事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	健康たかやま21、過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
担当課	医療保健部　健康推進課	内線	2815		項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	
					目	2	予防費			施策分野	(6)	健康・保健		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・保健指導が必要であると認められる市民及びその家族に対して、訪問により必要な指導を行い、健康の保持増進を図る。	概要	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導の実施

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	19.7%		13.9%

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		717	659	1,060			
特定財源	国費（　　）						
	県費（ 健康増進事業費2/3 ）	31	34	34			
	その他（　　）						
一般財源		686	625	1,026			

新規・拡充	主な事業内容						
	訪問指導事業	717	659	1,060			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			800
856			△ 204
34			0
822			△ 204

要求額	説明
856	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導を実施した。(3,055人)	
評価等	・健康診査を受けられた方の中から、生活習慣改善のための保健指導、医療機関への受診勧奨等、健診結果から目的別に対象者を抽出し、より個別性のある保健指導の実施に努めた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・保健指導が必要な市民に対し、生活習慣と健康状態の改善につながるような訪問指導を実施していく。 ・若年者からの健診受診の習慣化が図られるような訪問指導に努める。 ・協会けんぽの事業者等と市民の健康課題について共有し、連携促進に努める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	41240　感染症対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		
					款	4	衛生費			ポイント		
					項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康
担当課	医療保健部　健康推進課	内線	2804		目	2	予防費			施策分野	(6)	健康・保健

根拠計画	新型インフルエンザ等対策行動計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰ　くらしを守る 市民の皆さまの健康と命を守ることを最優先に、妥協しない医療体制を創ります

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市民に対し予防接種を実施することにより、疾病の発病及び重症化予防、まん延を予防する。 ・新たな感染症の感染拡大を可能な限り抑制して、健康被害を最小限にとどめ、社会・経済への影響を低減する。	概要	・定期予防接種(A類・B類)の実施 ・小児インフルエンザ予防接種に対する助成 ・小児がん患者ワクチン再接種に対する助成 ・帯状疱疹予防接種に対する助成 ・感染症対策備蓄品（マスク・防護服・消毒薬等）の計画的な更新

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
定期予防接種率(A類疾病)	88.1%		95.0%

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		402,779	279,825	410,460			
特定財源	国費（感染症対策事業費1/2、新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費10/10）	5,040	4,915	5,250			
	県費（小児がん患者ワクチン再接種補助金1/2）	40	0	50			
	その他（飛騨高山ふるさと基金繰入金）	1,000	1,000	21,000			
一般財源		396,699	273,910	384,160			
新規・拡充	主な事業内容						
○	定期予防接種（麻しん・風疹、五種・二種混合、日本脳炎、ロタウイルス、コロナ等）	360,493	246,014	355,060			
	任意予防接種費補助金（帯状疱疹、風しん）	13,200	8,399	11,300			
	小児がん患者へのワクチン再接種に対する助成	80	0	100			
	小児インフルエンザの予防接種に対する助成	11,300	10,366	16,200			
	おたふくかぜ予防接種に対する助成	2,700	1,827	1,800			
	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付金	4,997	4,858	5,250			
	妊婦に対するRSウイルスワクチンの定期接種化			12,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 410,600 増減 (d)-(c)	要求額	説明
352,168			△ 58,292		
6,264			1,014		
6			△ 44		
			△ 21,000		
345,898			△ 38,262		
				296,890	
				11,356	
				14	
				15,449	
				1,800	
				5,418	
				11,557	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・定期予防接種を実施した。（A類疾患接種率：88.1%） B型肝炎1,133人、ヒブ30人、小児肺炎球菌1,555人、5種混合1,507人、4種混合166人、2種混合492人、BCG385人、麻しん・風しん932人、水痘801人、子宮頸がん813人、日本脳炎1,761人、ロタウイルス789人、高齢者インフルエンザ15,495人、高齢者肺炎球菌386人、高齢者コロナ2,771人、高齢者帯状疱疹（定期）3,953人 ・小児インフルエンザは生後6か月以上中学3年生までのこどもに対し、延べ3,956人の助成を行った。 ・帯状疱疹（任意接種）は50歳以上の希望者に助成を行った。（796回分） ・おたふくかぜ（任意接種）への助成を開始（665人） ・新型インフルエンザ等対策備蓄品（マスク・防護服・手指消毒薬等）の計画に基づく更新を行った。 ・小児がん患者へのワクチン再接種への助成（0件）
評価等	・感染症のまん延や重症化を予防するため、引き続き各種予防接種の接種勧奨に努める必要がある。
次年度以降の考え方（担当課）	・予防接種法に沿って実施する。特に感染力が強い、麻しん・風しんの予防接種については個別勧奨等を実施し、接種率の向上を図る。 ・妊婦に対するRSウイルスワクチン接種が定期接種となり、小児インフルエンザの助成対象を高校生相当の年齢まで拡大することから、効果や副反応のお知らせを含め、対象者への接種案内を確実に行い、安全、安心な実施に努める。

☐ 維持・改善　☑ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R7完了　☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	

☐ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R8完了　☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・任意予防接種（小児インフルエンザ、おたふくかぜワクチン等）に対する助成に必要な経費を計上 ・高齢者新型コロナウイルス予防接種の自己負担軽減に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	41250　保健センター管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
担当課	医療保健部　健康推進課	内線	2804		項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	
					目	2	予防費			施策分野	(6)	健康・保健		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・支所地域の公衆衛生の向上及び市民の健康の保持・増進を図る。	概要	・支所地域に設置されている保健センター（5か所）の管理・運営

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		35,478	15,601	5,810			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（保健センター使用料、敷地占用料　等）	491	773	581			
一般財源		34,987	14,828	5,229			

新規・拡充	主な事業内容						
	保健センターの管理運営	35,478	15,601	5,810			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	R9予算 増減 (d)-(c)	実施計画額	5,100
5,919			109		
791			210		
5,128			△ 101		

要求額	説明
5,919	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・支所地域に設置されている保健センター（5か所）の管理・運営 延べ利用日数　386日、延べ利用者数　3,618人 ・久々野保健センターの解体工事については、外壁にアスベストが含まれていることが判明したため、除去工事分の経費を補正予算で増額対応し、工期も令和8年度まで延長した。	
評価等	・現存の保健センターについて、利用状況をみながら廃止に向けた調整を進める必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・引き続き、高山市保健センターの適正な管理・運営を行いつつ、公共施設等総合管理計画に基づく支所地域の施設の廃止に向けた調整を進める。	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☑ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	